

VI 公共的施設の統合整備及び適正配置

公共的施設の統合整備や適正配置については、住民生活に急激な変化を及ぼさないよう十分配慮し、地域の特殊性やバランス、さらには財政事情等を考慮しながら、逐次検討を進めていくことを基本とします。

さらに、新たな公共的施設の整備についても、財政状況等を踏まえる中で、事業の効果や効率性について十分検討するとともに、既存の公共的施設を可能な限り有効に活用するなど、効率的な整備に努めます。

合併に伴い阿智村役場の支所と位置付けられる清内路村役場庁舎については、清内路地区の住民生活の利便性の維持、向上に配慮した住民窓口サービスの機能や、清内路地区の振興事業を担う機能の整備を図ります。

特に、平成 22 年度に阿智中学校と統合することにより廃止となる清内路中学校については、使われなくなった校舎や体育館等をどのように利用していくかが課題となります。後利用については、地域の活性化を図るため、住民ニーズを踏まえて、最も有効な活用方法を検討していきます。